

# クリーンセンター建設に向けて

クリーンセンター建設には、みなさんのご理解とご協力が必要です。

前回では、ごみの処分量と再資源化率を掲載し、クリーンセンターは日常生活に必要なものであることを紹介しました。今月号では、ごみの減量に向け、わたしたちにできることを紹介します。

## 一人ひとりの取り組みが大切です

大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済活動の中で、最終処分場問題などによる環境制約、また地下資源の枯渇などが社会問題となっています。

これらを解決するためには、一人ひとりがこの問題を自分自身の問題として考え、循環型社会の構築に向け、取り組まなければなりません。

次の「3R」を基本とし、ごみを限りなくゼロにすることを目標に、皆さんのご協力をお願いします。

## 3Rのために私たちにできること

### Reduce(リデュース：廃棄物の発生抑制)

省資源化や長寿命化といった取り組みを通じて製品の製造、流通、使用などに係る資源利用効率を高め、廃棄物とならざるを得ない形での資源の利用を極力少なくする。

#### <わたしたちにできること>

- ・ものを大切に扱い、できるだけ長期間使用する。特にテレビや電灯は、こまめにスイッチを切り、寿命を延ばす。
- ・野菜や果物を購入するときは、できるだけばら売りでラップやトレイなどの容器包装のないものを選ぶ。
- ・使い捨ての紙製食器は極力買わない。
- ・ペットボトルは、水洗いしてから分別して出す。(汚れたり、傷んでいると不適合品としてリサイクルできないため)
- ・マイバッグを使い、ポリエチレン製の使い捨てレジ袋は受け取らない。
- ・再生品とそうでないものがある場合は、極力再生品を購入する。



### Reuse(リユース：再使用)

一旦使用された製品を回収し、必要に応じて適切な処置をし、再び製品として使用する。または、使用が可能な部分を取り出し、再使用する。

#### <わたしたちにできること>

- ・缶やペットボトルに入った飲料水などは、できる限り避け、リサイクルが可能なビンなどの飲料水を積極的に購入する。
- ・ペットボトル入りと缶入りの両方がある飲料などは、リサイクルが容易な缶入りのものを購入する。

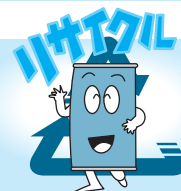


### Recycle(リサイクル：再資源化)

一旦使用された製品や製品の製造に伴い発生した副産物を回収し、原材料としての利用(マテリアルリサイクル)または焼却熱のエネルギーとしての利用(サーマルリサイクル)を図る。

#### <わたしたちにできること>

- ・リサイクルをしやすいように、ビニール・プラスチック容器包装や燃やさないごみ、ペットボトルなどの資源となるごみは、分別を徹底する。



## ごみ減量のために

これからの季節に、家庭から出される燃やすごみ(生ごみ)は、比較的水分を多く含んだ物で、大変腐りやすく、悪臭の原因ともなります。また、水分を含んでいると、大変重くなり、処分に要する費用も増加します。

悪臭の抑制、ごみの減量化のためにも、生ごみの水切りは十分におこなってください。

ごみを減量することは、地球温暖化対策や地球環境問題に大きく貢献することになります。